

## 【活動テーマ/テーマ設定背景】

- テーマ：身の回りにあるかがくってなんだろう？
- 設定背景：日常の中にある現象に対して、「なんで？」と思うことが増えてきた子どもたち。空気が乾燥し、手洗いの大切さを子供たちに話す機会も増えてくる。毎日の当たり前のように見ている手洗い場にある鏡。鏡にある不思議について活動する。

## 【活動のために準備した素材や道具、環境の設定】

鏡

## 【活動内容/お子さまの声や姿や保育者との関わり】

左右が反対に印刷された文字や数字を子どもたちに見せると「何かちがう！」「反対になってるよ！」と反応。それを大きな鏡を使って見てみると…「合ってる！」と驚き、鏡が反対に映ることを実感。また、「鏡を曲げるとどうなるかな？」「ふたつ使うとどう見えるかな？」などの問いかけをしながら大きな鏡を通して見る絵や自分たちの姿の変化から鏡の不思議を知った。

一人ひとりにも2枚の小さな鏡を渡すと「こうやって見るとすごいよ」など友達同士でも教え合いながら鏡の見方を試行錯誤する姿が見られた。光の反射や屈折などの現象を、鏡の不思議として捉えながら興味を深めた。



## 【振り返りをふまえた気づき】

### ●振り返りによって得た先生の気づき

始めに床に置いてある半分の絵に興味を示し、「何で半分なの？」と不思議に思う様子が見られている。大きな鏡を置くと、反射し全体的に映る絵に興味しているお子様たち。

鏡に角度をつける事で絵も変化し、「すごい」と更に関心が広がっている。一人ずつ鏡を2枚貸して頂き、色々な絵の上に置いてみると友達と一緒に絵の変化を楽しむ事が出来ていた。

引き続き、戸外や室内での鏡や反射するものを探したりし、興味関心を広げていきたい。